

生きる力の育成 _____ 平成21年度指定

心豊かな子どもの育成を目指して

いま 「連携」 から 「協働」 へ

周南市立櫛浜小学校 PTA

1 学校地域の概要

PTA 会長 : 藤田 禎弘
学 校 長 : 篠田 俊治
児 童 数 : 301名
会 員 数 : 252名
(家庭数231名 教職員21名)



所 在 地 : 〒745-0802
山口県周南市栗屋860番地
TEL (0834) - 25-0042
FAX (0834) - 25-0102

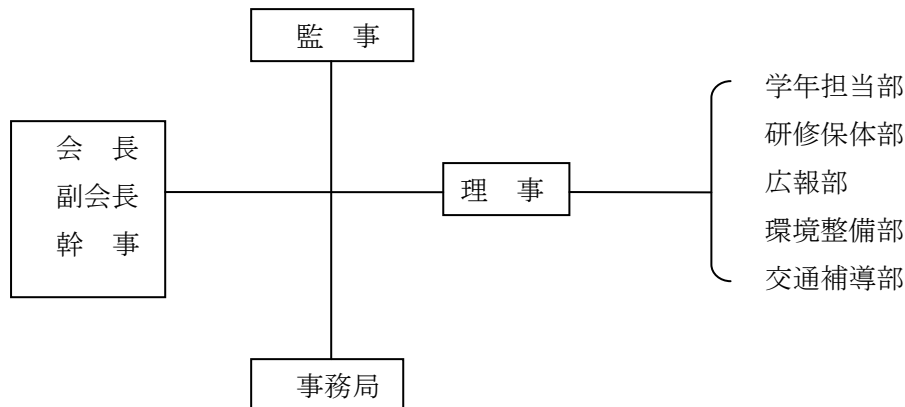
1 学校地域の概要

本校は、校区に瀬戸内海国立公園をもち、山・海・川とたいへん恵まれた自然環境の中にあります。学校や地域はその豊かな環境を活用した学習や事業を展開してきました。しかし、近年の産業の発展とともに周囲の環境は大きく変化し、校区にある工業地域の拡大や交通量の大幅増加等で、子どもたちを取り巻く環境は日々厳しく変化しています。

また、本校は開校136年に及ぶ長い歴史と伝統のある学校で、卒業生は1万2千有余名を数え市内はもとより全国各地で活躍しています。

一方櫛浜地区は、従来からコミュニティ活動が盛んで、各種団体が市民活動やスポーツ・文化活動に積極的に取り組んでいます。そして学校教育への支援や子どもたちの健全育成に大きな力を発揮しています。

2 PTA 組織図



3 研究主題について

私たちは、夢や希望をもちにくい混沌とした社会の中に生きています。

経済や社会の国際化、情報化、価値観の多様化等社会の変化はあまりに激しく、またそれともなつて、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。子どもたちがこのような社会を生き抜くことができるように、またこれからの時代のどんなニーズへも対応できるように必要な資質や能力を身につけておくことが重要だと思います。それは、確かな学力、心豊かな人間性、健康と体力を重視する「生きる力」です。

そこで学校、家庭、地域は、子どもたちと正面から向き合い、包み込み、この「生きる力」を育まなければなりません。そのとき、この3者が「連携」することはもちろんのこと、役割を分担しつつ「協働」することが大きな成果につながるものと思われます。

本PTAは、特に「心豊かな人間性」から切り込み、関係諸機関の教育力を互いに高めつつ、それぞれが協働しながら「生きる力」の育成を図ることとしました。そして子どもたちが家庭の絆を大切にしながら、自分の夢を膨らませ、輝かしい未来を築いていってくれることを願いながら標記の研究主題を設定しました。

4 活動内容

(1) 本年度新たに取組んだ事業

① 研究課題 [世界と遊ぼう！世界を知ろうよ みんな友達 Part.1]

国際的視野に立ち感性が豊かで個性的な成長を願う上から、小学生の時期は、まず英語だけではなく多様な国や人、異文化への興味・関心を深めその価値観を受け入れる態度を育てることが必要と考えます。

子どもの成長段階において、直接、外国の人や文化に触れることは大きな意味があります。

そこで、山口県国際課よりスペイン・アメリカ国際交流員（CIR）を派遣していただき課題事業を行いました。



② 研究課題 [世界と遊ぼう！世界を知ろうよ みんな友達 Part.2]

講師に平成19年度榎浜小学校の英語活動の授業で来校していただいた先生をお迎えして課題事業を行いました。

2日にわたり米国人講師によるネイティブの生きた外国語にふれ、パワフルなダンス・ゲーム・歌など和気あいあいとした雰囲気の中で交流を楽しみました。

子どもたちは、「英語って思っていたほど難しくないね」「英語のリズム、好きになったよ」と、外国語を体感できたようです。



③ 研究課題 [早寝、早起き、朝ごはん・自分で作ってみたい!]

ライフスタイルが多様化し、食習慣が変わりつつある中、子どもたちが心豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには「食育」が重要と考えます。

また食育は、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと考えています。

ここでは子どもたちに食に関する知識を習得させ、健全な食に関心をもたせるために、本校栄養教諭の協力とPTA会員の支援で、子どもの料理教室を開催しました。



栄養教諭による講義

資料をもとに朝食の果たす役割や朝食摂取状況、栄養についての話を聞き、調理実習の後試食をしました。

子どもたちの感想は、「朝ご飯大切なんだね。」
「自分でも朝ご飯つくれそう！今度やってみたい。」など意欲的なものばかりでした。

次回開催を楽しみにしているという声も聞きました。



④ 研究課題 [手作りのお飾りでお正月を迎えませんか]

正月のお飾り作りを通して子どもたちは日本の優れた日本の伝統文化や技能を学び、また師走という季節を体感します。併せてもの作りの楽しさやすばらしさを感じます。先人の築いてきた歴史や生き方、伝統文化を重んじることについて、次の時代を担う子ども



講師に本校の篠田俊治校長先生をお迎えし、先人の築いてきた歴史や生き方、伝統文化を重んじることについて、次の時代を担う子どもたちに語り継いでくださいました。

地域のおじさんやおばさん、PTAのお手伝いをいただきながらの体験学習でした。



手間暇をかけることで「心を込める」「心を渡す」ことも感じ取ってくれたのではないかと思います。子どもたちは、お手伝いをいただきながら立派な正月飾りが作れたことに感激し、来年も作ってみたいと大喜びでした。

(2) 地域と協働した事業

4月	太華山山開き	11月	榊浜地区文化祭
5月	干潟フェスティバル 太華山一周サイクリング		PTA・婦人会合同郷土料理 「つしま」調理実習
6月	子供相撲大会	12月	ふれあい餅つき大会
7月	榊浜地区納涼祭		ふれあいグランドゴルフ
8月	堀川運河いかだ乗り大会	1月	どんど焼き・昔の遊び
9月	榊浜地区敬老会		スポーツ少年団入隊団式
10月	榊浜地区大運動会		6年送別グランドゴルフ

(3) 例年取り組んでいるPTA事業

<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の交通指導 ・地区文化祭への協力 ・広報紙「太華の窓」 ・学校園・PTA花壇の世話 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大運動会 ・PTA研修事業 ・親子奉仕作業 ・ベルマーク集め
--	--

「おやじの会」との協働活動

「榊浜小おやじの会」は、父親を中心とした集まりで、会員同士の交流、児童や学校、またPTAの応援、地域行事への協力などを目的に本年度発足しました。

おやじの会は、校内の空き地を整備して保護者用の駐車場を設営したり、校地の排水をよくするために排水溝を整備したりと男ならではの活動をしました。また、地区納涼祭や文化祭のPTA出店への強力支援や、授業で教材の準備などで学習支援をしました。このように、PTAは「おやじの会」と役割分担をしながら児童や学校を支えています。



☆伝統行事事業「餅つき大会・どんど焼き」

無病息災



☆地域交流事業

似顔絵コーナー担当
雨の中イラストレーター
卵さんがんばってくれました



☆いかだ乗り大会



☆親事業

“笑いヨガ”でママ・おばあちゃんが
日ごろの子育てストレスを発散。



気持ちいい



あ～流れる～
そうめんが……

平成21年度 PTAと地域の協働活動記録



☆相撲大会



☆子ども教室

今年度から、子ども教室に参入し、地域のボランティアと一緒に料理教室・工作教室と楽しんだ。

☆環境整備・安全事業

- ・太華山環境整備事業共催で看板設置
- ・地域と共同で、通学路の草刈とクリーン作戦



5 成果と課題

私たちPTAは、本年度山口県PTA連合会の研究指定を受け、本PTAの指導力の向上や地域関係諸機関との協働の在り方を模索しながら「心豊かな子どもの育成を目指して」きました。研究の内容は、従来から実施してきているPTA事業の充実や地域との共催行事におけるよりよい役割分担の仕方、さらにPTAが子どもに直接かかわって心を育む事業の開発です。

これらのPTA事業に参加した児童は、初めてのことにそれぞれに興味をもって意欲的に挑戦し、たくさんの新しい経験をしました。友達とも仲良く協力して取り組みました。指導者や地域の大人とも貴重な交流をしました。思わぬ成果が上がりました。

一方このような事業を展開することで、私たちPTAの指導力がつきました。また、地域行事を他団体と協働することで一翼を担った喜びを感じるとともに、地域との連携や協働の重要性・在り方についての認識を新たにすることができました。

反対に課題として、PTA会員のPTA活動に対する関心の啓発と積極的参加をいかに促すか、コミュニティや子ども会の事業及びスポ少活動との連携のさらなる工夫、「おやじの会」との効果的な連携・協働の工夫が上げられました。今後、それに取り組んでいくとよいと思われます。

終わりに、本研究に助成をいただいた山口県PTA連合会、PTA活動に理解と協力をいただきました榎浜小学校及び地域諸団体に厚くお礼申し上げます。